



青葉の笛だより

第30号

令和元年10月号

発行所：大本山 須磨寺

〒654-0071

神戸市須磨区須磨寺町4-6-8

TEL 078-731-0416(代)

<http://www.sumadera.or.jp/>

ご存知かと思いますが、当山では毎年十一月二十三日には「須磨の火祭り」と称した、山伏の衣装を纏って屋外で火を焚く「柴燈護摩」を執り行っています。

柴燈護摩は修験道の野外で修する護摩で、日本古来の神様及び靈魂に対する信仰や習俗を密教的に解釈し、その密教の護摩の作法をもって再構成されたものだと言われています。修験道には仏教系と神道系の二つがあり、仏教系では現在、聖護院を本山とする、神変大菩薩・役行者が創始の天台宗系の本山派と、醍醐寺を開創された聖宝・理源大師を創始とする真言宗系の当山派の二つがあり、どちらも活発な活動を続けておられます。

柴燈護摩は山伏と呼ばれる修験者にとって、大峯山や石鉦山などの聖山、靈山と呼ばれる山々への入峯に際して執り行う大変重要な修法でしたが、その灼かな靈験から、全国の神社仏閣での例祭や法要、節分会、追悼法要から交通安全祈願などでも執り行われるように

なりました。

柴燈護摩の道場は五方に五色の幣を立ててしめ縄を回し、中央に護摩壇を築き、縦横の井桁に積み重ねられた護摩木を、檜葉や杉の葉で覆います。点火の前には山伏問答が行われたり、道場を結界するための斧の作法、宝弓の作法、宝剣の作法などが執り行われます。そして僧侶や山伏が太鼓や法螺貝や錫杖の響きと共に読経する中、大きな火が上がった護摩壇の中に名前や年齢、願いごとの書かれた添え護摩木を投入し、清浄な火による諸願成就、悪事退散を祈ります。それから、その護摩のあとの焚火の上を裸足で歩く火渡りをして、穢れを祓い、生まれ清まりの再生を願います。ぜひお参り下さい。

またご縁を頂き、近畿一円の三十六ヶ寺で構成される「役行者靈蹟札所会」の一員となり、本年十一月十三日から十七日まで、吉野の金峯山寺で行われる「出開帳」に出仕することとなりました。遠方ではございますが、ご都合が良ければご参拝下さい。

尚、当山では護摩堂内の、本尊向かって右側に、神変大菩薩をお祀りしております。

大本山須磨寺 貫主

合掌

小池 弘三



正覚院永代供養堂 如実知自心落慶法要

この度、須磨寺塔頭正覚院では、須磨寺仁王門前の龍華橋東側に新たに永代供養堂「如実知自心」を建立致しました。堂内には各家ごとに仕切りを付けた個別の納骨棚を三百七棚設けています。この納骨棚には一棚あたり二霊から四霊までの御遺骨を納めることができます。

落慶法要は令和元年五月六日、檀信徒約百五十名ご参列のなか盛大に営まれました。当日は午後一時より正覚院住職導師のもと御本尊大日如来様の開眼供養、檀信徒各家先祖供養、納骨奉安法要を厳修致しました。法要後には須磨寺副住職小池陽人師のご法話を頂き、その後、一絃須磨琴による奉納演奏や歴史秘話ヒストリアのテーマ曲を声楽、一絃琴、太鼓、ピアノで合奏をし、盛会にて法要を無慮終了いたしました。

只今、納骨棚の受付を募集しておりますので、ご検討中の方は左記の連絡先までお問い合わせ下さいませ。様、宜しくお願い申し上げます。

合掌

須磨寺正覚院「連絡先」

078-1731-0374
090-13652-17916



去る九月七日に、須磨寺で「2000人ギター弾き語り」のチャリティーイベントが行われました。楽器の弾き語りで東日本大震災の被災地を応援する催しで、震災のあった2011年から毎年開かれており、今年で第九回目となりました。須磨寺での開催は、今年で二回目となります。須磨区在住のシンガーソングライターで、「須磨のご当地歌のお兄さん」として活動されている、しんごお兄さんが発起人となり、当日募金を呼びかけ、集まった寄付金で、ギターやウクレレなどを購入し、東北の小中学校などに寄贈しています。しんごお兄さん自ら、東北まで楽器を届け、東北の子どもたちに、楽器の演奏を教えるところまでがプロジェクトとなっています。

境内には、ギターやウクレレなどを手にした約400名の方が集まり、「小さな世界」や「上を向いて歩こう」などを一緒に歌い奏でて東北の被災者にエールを送りました。

当日集まりました募金額は183,167円で、ギターとウクレレを購入し、宮城県気仙沼市にある「けせんぬま おひさま保育園」の子どもたちに届ける予定となっています。ご参加してくださった方々へ感謝申し上げ、ご報告とさせていただきます。

東日本大震災チャリティー 2000人ギター 弾き語り



須磨の火祭り



来る十一月二十三日(祝・土曜日)午前十一時より、須磨寺秋季大祭「須磨の火祭り」(柴燈大護摩供、火生三昧火渡り修行)を厳修致します。柴燈護摩とは、屋外で焚く大護摩のことです。もともとは山伏が山の中で行っていた修験道の修行であり、不動明王の智慧の火によって皆様の諸願成就を祈ります。護摩壇が点火されると、境内は煙で包み込まれます。この煙にあたれば、無病息災のご利益を得られると伝えられています。法要の最後には、火渡り修行が行われます。火渡りは火の上を歩く荒行です。浄火によって煩惱を焼き尽くし、古い身体と別れ新たに生まれ変わるといふ意味があります。この一年を無事に終えた事を仏様に感謝し、火渡りによって身を清め新しい年をお迎え下さい。

記

- 一、日時 十一月二十三日(土曜日・祝日) 午前十一時開白
- 一、会場 須磨寺境内 ※荒天時は、護摩堂にて
- 一、ご祈禱 特別祈禱札 一万円・三万円・五万円
添護摩木 千円
- 一、火渡り 厄年特別火渡り 五千元
一般火渡り 二千元(先着百五十名)
- ※火渡り申込の方には当日お礼、行者手ぬぐいをお渡しします。
※火渡り修行は荒行です。多少のやけどもあり得ますので、申込書の注意をよくお読みの上お申し込みください。
- 一、お申し込み 須磨寺派各寺院にお申し込みください。

特に来年厄年を迎える方は、厄難消除のために、火渡りをされることをおすすめします。

令和二年 厄年表

平成 十四年生(女性)	厄年	平成 八年生(男性)	厄年
平成 元年(女性)	前厄	昭和五十五年生(男性)	前厄
昭和六十三年生(女性)	本厄	昭和五十四年生(男性)	本厄
昭和六十二年生(女性)	後厄	昭和五十三年生(男性)	後厄
昭和五十九年生(女性)	厄年	昭和三十三年生(男性)	厄年
昭和三十五年生(女性)	厄年		

須磨寺副住職 小池陽人 法話会



令和元年十一月三日（日）午後一時半、須磨寺 本坊書院に於いて、須磨寺副住職 小池陽人 の法話を執り行います。

公開収録という形で、当日撮影した法話を、後日 YouTube チャンネル「小池陽人の随想録」にアップする予定です。参加費無料で、どなた様でもお気軽にお越し下さい。

尚、席の数には限りがありますのでご了承下さい。

日時 令和元年 **11月3日（日）** 午後一時半
場所 須磨寺本坊書院

蓮生院十一月・十二月の行事予定

蓮生院 死生観くっちゃべり会

参加者にはそれぞれ死生観について語り合う（くっちゃべる）集まりです。自分や他人の死生観に触れることで世界観を広げてみませんか？お寺の静かな空間で体験してみましよう。

日 時 十一月三日（日）、十二月八日（日）
十四時～十五時半
場 所 蓮生院客間
持ち物 筆記用具・お飲み物
参加費 千円
講師 山脇由記子

写経・瞑想体験会

お寺で写経と瞑想の体験会を致します。気軽にできる写経・瞑想体験ですので、今まで経験のない方でも是非ご参加ください。また瞑想会の後にお茶を出させていただきますので、心身共にゆったりとしてください。（写経のみ、瞑想のみの参加も可能です。足を組みやすい服装でお越しください）

日 時 十一月二十四日（日） 十二月二十九日（日）
写経会 十四時～十五時半
瞑想会 十六時～十七時半（受付は三十分前から）
場 所 蓮生院本堂
参加費 写経五百円・瞑想会千円

二つとも事前申し込み制です。

前日までに蓮生院の寺務所にお申込みいただくかお電話でお申し込みください。

蓮生院電話番号 〇七八―七三一―二三二一